

木耐 博士サンプル 様 補強案 1

2008年07月18日 15:14
一般診断・補強案 1

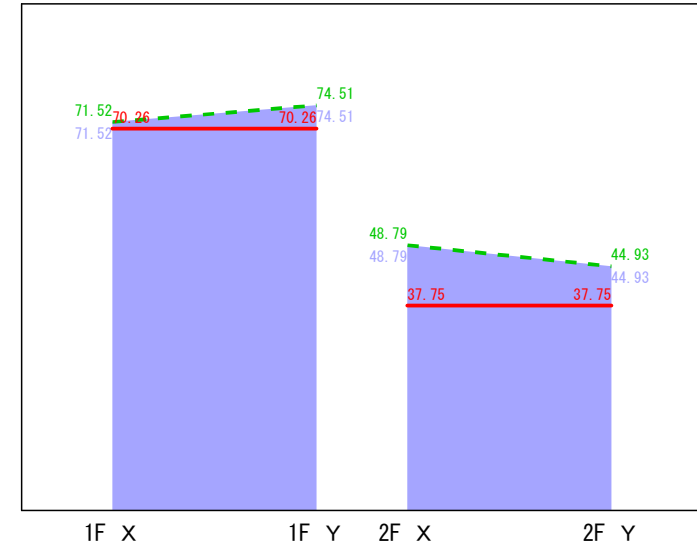
補 強 提 案 書

総合評価

あなたの家の強さ(保有・必要耐力)

単位: kN

P 必要耐力 ———— 強さ - - - - 保有耐力



総合評価

上部構造評点のうち最低の値	評点	判定
1.01	1.5以上	◎ 倒壊しない
	1.0以上~1.5未満	○ 一応倒壊しない
	0.7以上~1.0未満	△ 倒壊する可能性がある
	0.7未満	× 倒壊する可能性が高い

◆建物概要

建物名称	木耐 博士サンプル 様邸		
建築地	埼玉県川口市弥平2-20-3	建物階数	2
備考		診断の方法	方法1
構法	在来軸組構法	低減係数E	偏心率
1階構造種別	木造	診断者	
外壁材種	モルタル塗り壁	竣工年月	1973年1月(昭和48年)
外壁材耐力	1.6(kN/m)	築年数	築10年以上
基礎仕様	無筋コンクリート	建物重量	重い
柱頭柱脚接合部	II 羽子板ボルト、山形プレートVP、かど金物CP-T等	混構造割増係数	1.0
必要耐力計算法	精算法(各階の床面積比を考慮した方法)	積雪	0.0
床仕様	II 火打ち+荒板	地域係数Z	1.0
床面積	2階	71.22㎡ (21.54坪)	形状割増短辺の長さ
	1階	83.64㎡ (25.30坪)	
		2階	6m以上
		1階	6m以上

■上部構造の評価

階	方向	強さ P (kN)	配置 E	劣化度 D	保有耐力 Pd=PxExD (kN)	必要耐力 Qr (kN)	評点 Pd/Qr	判定
2F	X	48.79	1.00	1.00	48.79	37.75	1.29	一応倒壊しない
	Y	44.93	1.00	1.00	44.93	37.75	1.19	一応倒壊しない
1F	X	71.52	1.00	1.00	71.52	70.26	1.01	一応倒壊しない
	Y	74.51	1.00	1.00	74.51	70.26	1.06	一応倒壊しない

注意事項: 地盤・基礎

地盤・地形・基礎	対策	注意事項
地盤: 普通		
地形: がけ地・急斜面	コンクリート擁壁	擁壁が崩れると、建物直下の地盤が崩壊する可能性があります。
基礎: 無筋コンクリート	ひび割れが生じている	ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。

木耐 博士サンプル様邸

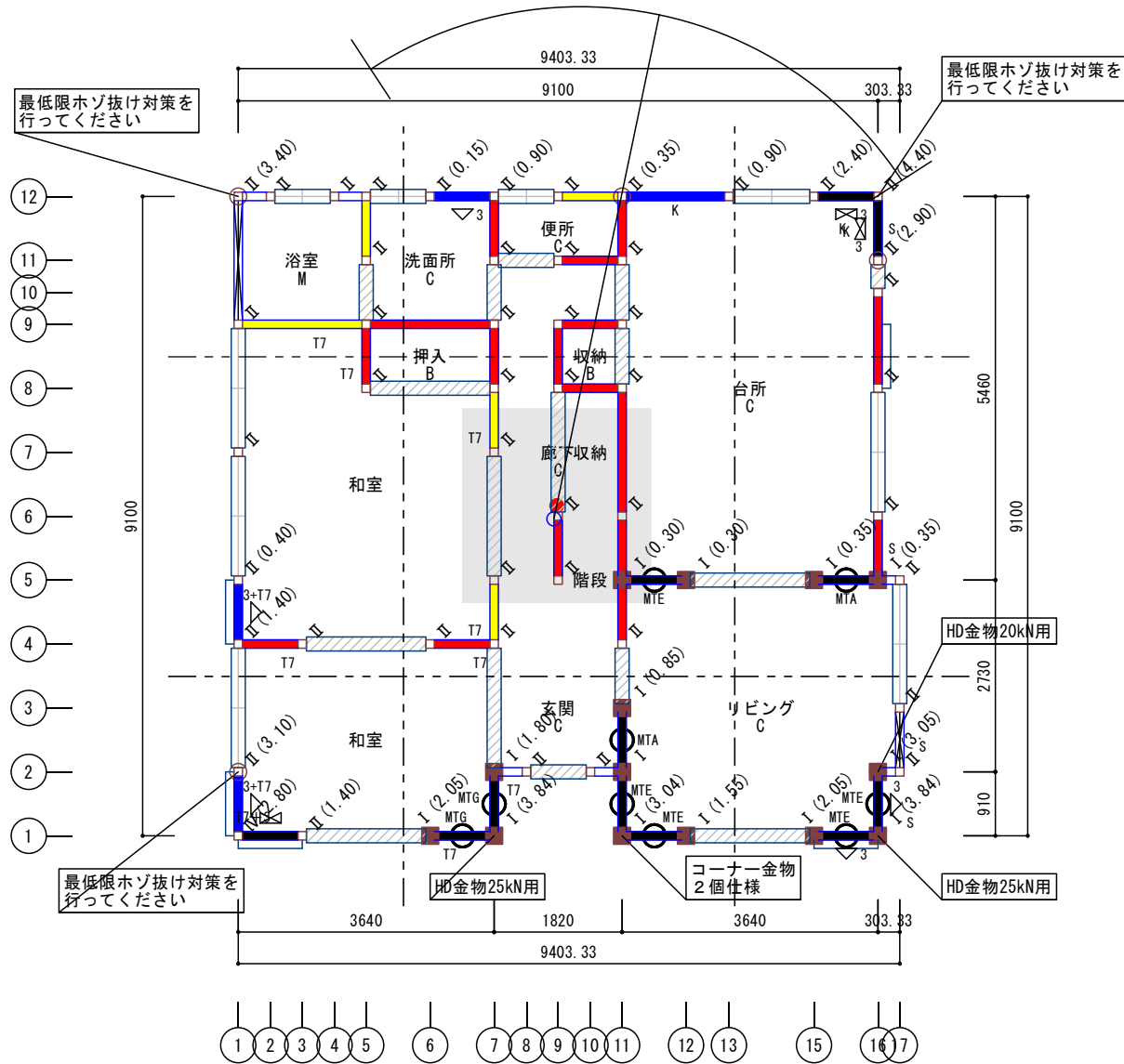
診断書作成日時: 2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 00000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

(財)日本建築防災協会 木耐博士S P評価4-W

1階平面図



最低限ホゾ抜け対策を行ってください

最低限ホゾ抜け対策を行ってください

最低限ホゾ抜け対策を行ってください

HD金物25kN用

コーナー金物2個仕様

HD金物20kN用

HD金物25kN用

壁強さ倍率 (kN/m)	
赤	2.5未満
黄	2.5~4.0未満
青	4.0~6.0未満
黒	6.0~

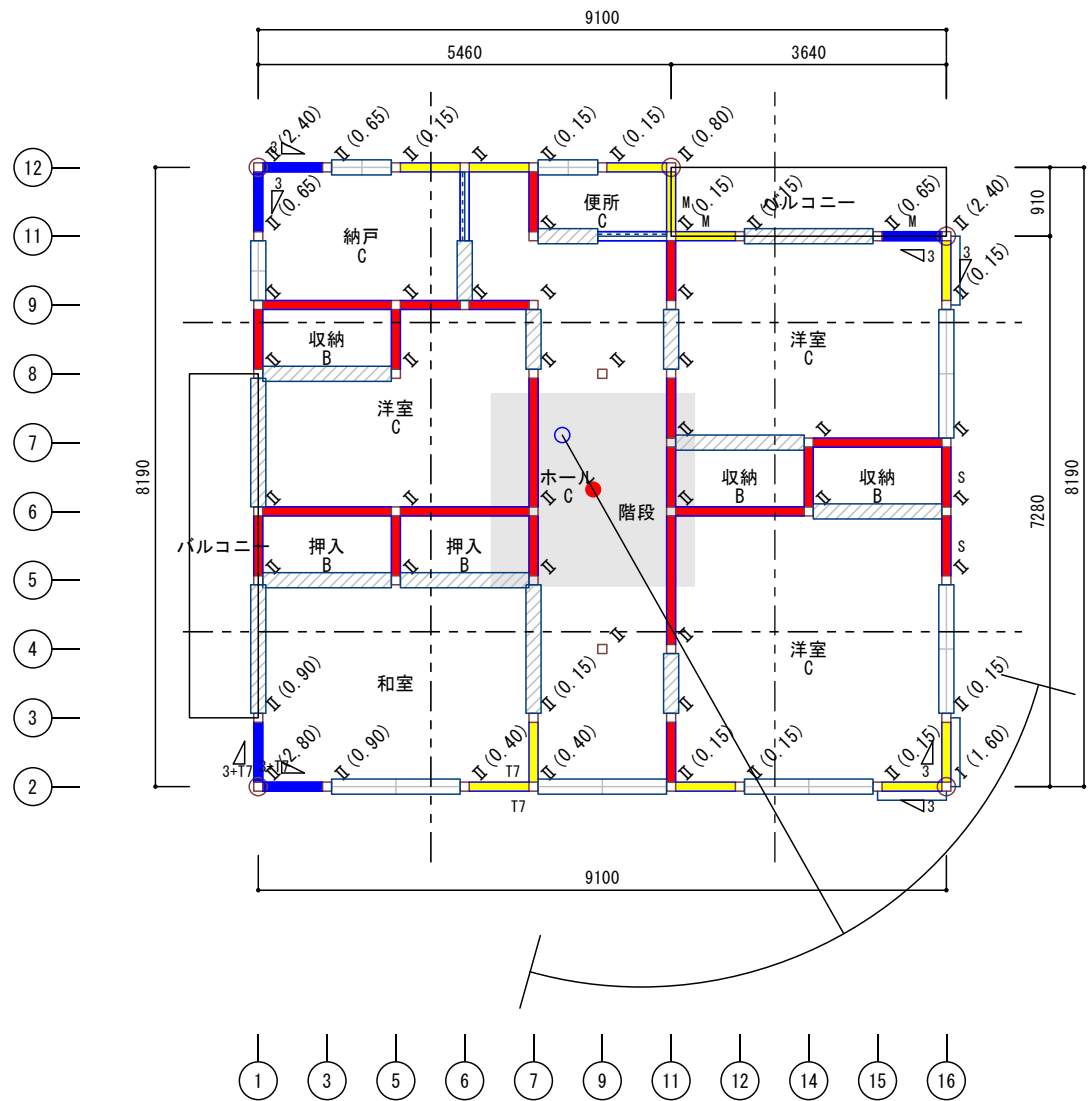
木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 000000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。柱の()内はNの値です。Nの値が0未満の場合は表示されません。

2階平面図



壁強さ倍率 (kN/m)	
赤	2.5未満
黄	2.5~4.0未満
青	4.0~6.0未満
黒	6.0~

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 000000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
 本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
 柱の()内はNの値です。Nの値が0未満の場合は表示されません。

地盤・基礎

地盤	対策	記入欄	注意事項
よい			<ul style="list-style-type: none"> ・地盤が悪い場合、地震時に木造住宅を大きく揺らさせるような揺れ方をすることがあります。 ・地盤が液状化する可能性があります。
普通		○	
悪い (埋立地、盛り土、軟弱地盤)	表層の地盤改良を行っている 杭基礎である 特別な対策を行っていない		

地形	対策	記入欄	注意事項
平坦・普通			<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁が崩れると、建物直下の地盤が崩壊する可能性があります。 ・擁壁が崩れると、崩れた土砂が建物を押し出す可能性があります。 ・擁壁のコンクリートに大きなひび割れがある場合は補修しましょう。
がけ地・急斜面	コンクリート擁壁	○	
	石積 特別な対策を行っていない		

基礎形式		記入欄	注意事項
鉄筋コンクリート基礎	健全		<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れが発生している場合、内部の鉄筋が錆びて、コンクリートを壊す可能性があります。補修が必要です。 ・建物が不同沈下しています。地盤改良などにより改善をはかる必要があります。 ・アンカーボルト、引き抜き金物が十分な性能を発揮できない場合があります。こうした箇所には補強が必要です。 ・地震時に、基礎が曲げ破壊し上部構造の性能を十分に発揮できない可能性があります。鉄筋コンクリート基礎などを沿えて基礎を補強する必要があります。
	ひび割れが生じている		
無筋コンクリート基礎	健全		
	ひび割れが生じている	○	
玉石基礎	足固めあり		
	足固めなし		
その他 (ブロック基礎等)			

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 00000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

劣化度による低減係数 D

部位	材料、部材等	劣化事象	存在点数		劣化点数	
			10未満	10以上		
屋根 葺き材	金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある	2	②	2	
	瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある				
樋	樋・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	2	
	縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	②	2	
外壁 仕上げ	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	4	④	4	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある				
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある				
	モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある				
露出した躯体		水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	2	2	2	
バルコニー	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある	1	①	1	
	窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある				
	金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある	1	①	1	
	外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある	1	①	1	
床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	①	1	
内 壁	一般室 内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	②	2	
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある	2	②	2
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある			
床	一般室 床面	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	②	2	
	廊下 床面	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	①	1	
	床下	基礎の亀裂や床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	②	2	
合 計			0	22	0	

劣化度による低減係数 D 1 - (劣化点数/存在点数) = 1.00

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 000000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

耐力要素の配置等による低減係数 E

床仕様 II 火打ち+荒板

			必要耐力 Qr	保有耐力 P=Pw+Pe	充足率	配置による 低減係数 E
2 F	X方向	桁行イ	8.12	22.25	2.74	1.00
		桁行ロ	9.88	12.88	1.30	
	Y方向	梁間 a	9.88	12.61	1.28	1.00
		梁間 b	8.78	7.79	0.89	
1 F	X方向	桁行イ	17.39	27.44	1.58	1.00
		桁行ロ	16.35	19.53	1.19	
	Y方向	梁間 a	17.97	17.93	1.00	1.00
		梁間 b	16.35	14.45	0.88	

床仕様 \ 偏心率	0.00~0.30	0.30~0.60	0.60~
I	1.00	0.70	0.60
II	1.00	0.50	0.45
III	1.00	0.30	0.30

偏心率

		偏心率	配置による低減係数
2 F	X方向	0.17	1.00
	Y方向	0.09	1.00
1 F	X方向	0.04	1.00
	Y方向	0.01	1.00

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 000000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

(財)日本建築防災協会 木耐博士S P評価4-W

必要耐力の算出

	床面積 (m ²)		床面積あたり 必要耐力 (kN/m ²)		積雪用 必要耐力 (kN/m ²)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2階	71.22	× (0.53	+)	0.00) ×	1.0	×	1.00	×	1.00	×	1.0	=	37.75
1階	83.64		0.84		0.00		1.00		1.00		70.26				

耐力要素の配置による低減係数用必要耐力

梁間a

	床面積 梁間a (m ²)		床面積あたり 必要耐力 (kN/m ²)		積雪用 必要耐力 (kN/m ²)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2階	18.63	× (0.53	+)	0.00) ×	1.0	×	1.00	×	1.00	×	1.0	=	9.88
1階	21.39		0.84		0.00		1.00		1.00		17.97				

梁間b

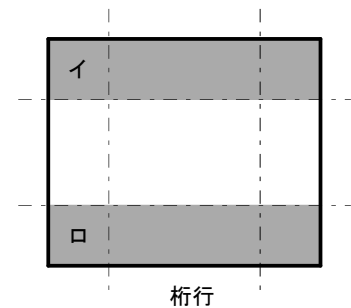
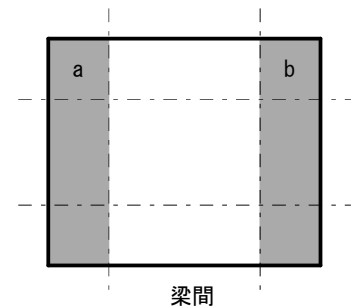
	床面積 梁間b (m ²)		床面積あたり 必要耐力 (kN/m ²)		積雪用 必要耐力 (kN/m ²)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2階	16.56	× (0.53	+)	0.00) ×	1.0	×	1.00	×	1.00	×	1.0	=	8.78
1階	19.46		0.84		0.00		1.00		1.00		16.35				

桁行イ

	床面積 桁行イ (m ²)		床面積あたり 必要耐力 (kN/m ²)		積雪用 必要耐力 (kN/m ²)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2階	15.32	× (0.53	+)	0.00) ×	1.0	×	1.00	×	1.00	×	1.0	=	8.12
1階	20.70		0.84		0.00		1.00		1.00		17.39				

桁行ロ

	床面積 桁行ロ (m ²)		床面積あたり 必要耐力 (kN/m ²)		積雪用 必要耐力 (kN/m ²)		地域係数 Z		軟弱地盤 割増係数		形状 割増係数		混構造 割増係数		必要耐力 Q _r (kN)
2階	18.63	× (0.53	+)	0.00) ×	1.0	×	1.00	×	1.00	×	1.0	=	9.88
1階	19.46		0.84		0.00		1.00		1.00		16.35				



壁の耐力 (1階 Y 方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	倍率	壁の強さ 倍率 (kN/m) C		壁の長さ (m) L 柱本数 (本)		接合部 低減係数 f		Pwi (kN) Pei (kN)	Pw = Σ Pwi	Pe = 0.25Qr	P = Pw+Pe
梁間 (a)	1	1-2	3+T7	※筋かい30×90 (金物なし) 土塗り (5~7cm)	4.10	4.10	X	0.91	X	0.25	=	0.93	13.44	4.49	17.93
	1	4-5	3+T7	※筋かい30×90 (金物なし) 土塗り (5~7cm)	4.10	4.10	X	0.91	X	0.80	=	2.98			
	1	9-12	M	モルタル塗り壁	1.60										
			M	モルタル塗り壁	1.60	3.20	X	1.82	X	0.90	=	5.24			
	5	8-9	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20	2.20	X	0.91	X	1.00	=	2.00			
	5	11-12	C	石膏ボード張り	1.20										
			M	モルタル塗り壁	1.60	2.80	X	0.91	X	0.90	=	2.29			
梁間 (中央)	7	1-2	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20										
			M	モルタル塗り壁	1.60										
			MTG	⑩モイスかべつよし真壁g	6.60	9.80	X	0.91	X	0.60	=	5.35			
	7	4-5	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20										
			C	石膏ボード張り	1.20	3.40	X	0.91	X	0.90	=	2.78			
	7	7-8	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20										
			C	石膏ボード張り	1.20	3.40	X	0.91	X	0.90	=	2.78			
	7	8-9	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09			
	7	11-12	C	石膏ボード張り	1.20										
			C	石膏ボード張り	1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18			
	9	5-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09			
	9	8-9	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09			
	11	1-2	MTE	⑮モイスかべつよし入隅e	6.50										
			M	モルタル塗り壁	1.60	8.10	X	0.91	X	0.60	=	4.42			
	11	2-3	MTA	⑪モイスかべつよし大壁a	6.80										
		C	石膏ボード張り	1.20	8.00	X	0.91	X	0.80	=	5.82				
11	4-5	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09				
11	5-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09				
11	6-8	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
11	11-12	C	石膏ボード張り	1.20											
		C	石膏ボード張り	1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18				
梁間 (b)	16	1-2	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	1.90										
			MTE	⑮モイスかべつよし入隅e	6.50	8.40	X	0.91	X	0.60	=	4.58			
	16	5-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09			
	16	8-10	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.37	X	1.00	=	1.64			
	16	11-12	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	3.80										
		K	石綿ケイ酸カルシウム板	2.90	6.70	X	0.91	X	0.35	=	2.13				
	17	2-3	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	0.85	=	0.92			
合計												56.94	17.57	74.51	

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 00000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。

本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

「※」の付いた壁の仕様は(財)日本建築防災協会認定された仕様ではありません。

壁の耐力 (1階×方向)

位置	Y	X	記号	壁の仕様	倍率	壁の強さ 倍率 (kN/m) C		壁の長さ (m) L 柱本数 (本)		接合部 低減係数 f		Pwi (kN) Pei (kN)	Pw = Σ Pwi	Pe = 0.25Qr	P = Pw+Pe
桁行 (イ)	9	1-5	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20										
			M	モルタル塗り壁	1.60	3.80	X	1.82	X	0.90	=	6.22			
	9	5-7	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09			
	11	9-11	C	石膏ボード張り	1.20										
			C	石膏ボード張り	1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18			
	12	6-7	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	1.90										
			M	モルタル塗り壁	1.60										
			C	石膏ボード張り	1.20	4.70	X	0.91	X	0.80	=	3.42			
	12	9-11	M	モルタル塗り壁	1.60										
C			石膏ボード張り	1.20	2.80	X	0.91	X	0.90	=	2.29				
12	11-13	M	モルタル塗り壁	1.60											
		K	石綿ケイ酸カルシウム板	2.90	4.50	X	1.52	X	0.45	=	3.07				
		3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	3.80											
12	15-16	M	モルタル塗り壁	1.60											
		K	石綿ケイ酸カルシウム板	2.90	8.30	X	0.91	X	0.35	=	2.64	23.09	4.35	27.44	
		3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	3.80											
桁行 (中央)	4	1-3	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20	2.20	X	0.91	X	1.00	=	2.00			
			T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20	2.20	X	0.91	X	1.00	=	2.00			
	5	11-12	MTE	⑮モイスかべつよし入隅e	6.50										
			C	石膏ボード張り	1.20	7.70	X	0.91	X	0.80	=	5.60			
5	15-16	MTA	⑪モイスかべつよし大壁a	6.80											
		C	石膏ボード張り	1.20	8.00	X	0.91	X	0.80	=	5.82	15.42			
桁行 (ロ)	1	1-3	T7+3	※筋かい30×90 (金物無) 土塗り (5~7cm)	6.00	6.00	X	0.91	X	0.20	=	1.09			
			T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20										
	1	6-7	M	モルタル塗り壁	1.60										
			MTG	⑰モイスかべつよし真壁g	6.60	9.80	X	0.91	X	0.60	=	5.35			
	1	11-12	MTE	⑮モイスかべつよし入隅e	6.50										
			M	モルタル塗り壁	1.60	8.10	X	0.91	X	0.60	=	4.42			
1	15-16	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	1.90											
		MTE	⑮モイスかべつよし入隅e	6.50	8.40	X	0.91	X	0.60	=	4.58	15.44	4.09	19.53	
合計												53.95	17.57	71.52	

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 000000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。
 本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。
 「※」の付いた壁の仕様は (財)日本建築防災協会にて認定された仕様ではありません。

(財)日本建築防災協会 木耐博士S P評価4-W

壁の耐力 (2階 Y 方向)

位置	X	Y	記号	壁の仕様	倍率	壁の強さ 倍率 (kN/m) C		壁の長さ (m) L 柱本数 (本)		接合部 低減係数 f		Pwi (kN) Pei (kN)	Pw = Σ Pwi	Pe = 0.25Qr	P = Pw+Pe				
梁間 (a)	1	2-3	3+T7 M	※筋かい30×90 (金物なし) 土塗り (5~7cm) モルタル塗り壁	4.10 1.60	5.70	X	0.91	X	0.65	=	3.37	10.14	2.47	12.61				
	1	5-6	M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	0.91	X	1.00	=	1.45							
	1	8-9	M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	0.91	X	1.00	=	1.45							
	1	11-12	3 M C	筋かい木材 30×90以上 (金物なし) モルタル塗り壁 石膏ボード張り	1.90 1.60 1.20	4.70	X	0.91	X	0.65	=	2.78							
	5	8-9	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09							
梁間 (中央)	7	2-3	T7 C	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満) 石膏ボード張り	2.20 1.20	3.40	X	0.91	X	0.80	=	2.47	19.76						
	7	5-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09							
	7	6-8	C C	石膏ボード張り 石膏ボード張り	1.20 1.20	2.40	X	1.82	X	1.00	=	4.36							
	7	11-12	C C	石膏ボード張り 石膏ボード張り	1.20 1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18							
	11	2-3	C C	石膏ボード張り 石膏ボード張り	1.20 1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18							
	11	4-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18							
	11	7-8	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=	1.09							
	11	9-11	C C	石膏ボード張り 石膏ボード張り	1.20 1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18							
	11	11-12	C M	石膏ボード張り モルタル塗り壁	1.20 1.60	2.80	X	0.91	X	0.80	=	2.03							
	梁間 (b)	16	2-3	3 C	筋かい木材 30×90以上 (金物なし) 石膏ボード張り	1.90 1.20	3.10	X	0.91	X	0.80	=				2.25	5.59	2.20	7.79
		16	5-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	0.91	X	1.00	=				1.09			
16		9-11	3 C	筋かい木材 30×90以上 (金物なし) 石膏ボード張り	1.90 1.20	3.10	X	0.91	X	0.80	=	2.25							
合計													35.49	9.44	44.93				

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 000000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。

本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

「※」の付いた壁の仕様は (財) 日本建築防災協会にて認定された仕様ではありません。

(財) 日本建築防災協会 木耐博士 S P評価4-W

壁の耐力 (2階×方向)

位置	Y	X	記号	壁の仕様	倍率	壁の強さ 倍率 (kN/m) C		壁の長さ (m) L 柱本数 (本)		接合部 低減係数 f		Pwi (kN) Pei (kN)	Pw = Σ Pwi	Pe = 0.25Qr	P = Pw+Pe
桁行 (イ)	9	1-5	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18	20.22	2.03	22.25
	9	5-6	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			C	石膏ボード張り	1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18			
	9	6-7	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			C	石膏ボード張り	1.20	2.40	X	0.91	X	1.00	=	2.18			
	11	11-12	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			M	モルタル塗り壁	1.60	2.80	X	0.91	X	0.80	=	2.03			
	11	15-16	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	1.90	1.90	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			C	石膏ボード張り	1.20	4.70	X	0.91	X	0.65	=	2.78			
12	1-3	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	1.90	1.90	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
		M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
		C	石膏ボード張り	1.20	4.70	X	0.91	X	0.65	=	2.78				
12	5-6	M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
		C	石膏ボード張り	1.20	2.80	X	0.91	X	0.80	=	2.03				
12	6-7	M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
		C	石膏ボード張り	1.20	2.80	X	0.91	X	0.80	=	2.03				
12	9-11	M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
		C	石膏ボード張り	1.20	2.80	X	0.91	X	0.80	=	2.03				
桁行 (中央)	6	1-5	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18	8.72		
	6	5-7	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
	6	11-14	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
	7	14-16	C	石膏ボード張り	1.20	1.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
桁行 (口)	2	1-3	3+T7	※筋かい30×90 (金物なし) 土塗り (5~7cm)	4.10	4.10	X	1.82	X	1.00	=	2.18	10.41	2.47	12.88
			M	モルタル塗り壁	1.60	5.70	X	0.91	X	0.65	=	3.37			
	2	6-7	T7	土塗り (塗厚5cm以上~7cm未満)	2.20	2.20	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
			M	モルタル塗り壁	1.60	3.80	X	0.91	X	0.80	=	2.76			
	2	11-12	M	モルタル塗り壁	1.60	1.60	X	1.82	X	1.00	=	2.18			
		C	石膏ボード張り	1.20	2.80	X	0.91	X	0.80	=	2.03				
2	15-16	3	筋かい木材 30×90以上 (金物なし)	1.90	1.90	X	1.82	X	1.00	=	2.18				
		C	石膏ボード張り	1.20	3.10	X	0.91	X	0.80	=	2.25				
合計												39.35	9.44	48.79	

木耐 博士サンプル様邸

診断書作成日時:2008年07月18日15:14 Ver. 2.0.9.3

物件コード: 00000000 補強案 1 0.56→1.01

本書は、国土交通省住宅局建築指導課監修、(財)日本建築防災協会発行の「木造住宅の耐震診断と補強方法」の一般診断法に基づき結果を出力しています。

本書の診断結果に問題が無くても、地震による被害を受けないことを保証するものではありません。

「※」の付いた壁の仕様は(財)日本建築防災協会にて認定された仕様ではありません。